

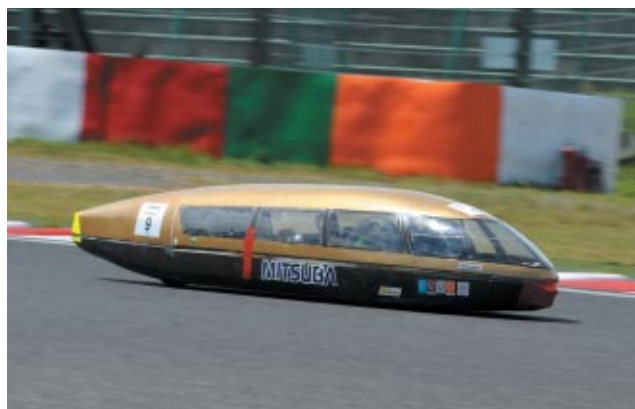
鈴鹿サーキット 次世代エネルギーカーイベント開催のご報告



FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP
ソーラーカーレース鈴鹿2012 8月3日(金)・4日(土)



2012 Ene-1 GP SUZUKA 8月5日(日)











公式プログラム

【イベント概要】

- イベント名称：FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP
ソーラーカーレース鈴鹿 2012
- 競技格式：国際格式
- 日程：2012年 8月3日(金) 公式車検/フリー走行
4日(土) 4時間耐久レース 決勝
5時間耐久レース 決勝
- 開催クラス：5時間耐久レース
FIAオリンピック/ドリーム/チャレンジ 計3クラス
4時間耐久レース
エンジョイ I / エンジョイ II 計2クラス
- 主催：株式会社モビリティランド
一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)
- オフィシャルパートナー：

 パナソニック株式会社	 株式会社ミツバ	 大正製薬株式会社
 株式会社第三銀行	 株式会社三重銀行	 株式会社サンゲツ
- 後援：三重県
鈴鹿市
鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会
一般社団法人鈴鹿市観光協会
鈴鹿商工会議所
- 会場：鈴鹿サーキット 国際レーシングコース (4輪用:一周5.807km)
- 天候・動員：8月4日(土) 晴 31.3℃ 東南東の風 8.6m/s 9,000人

21回目を数えた「ソーラーカーレース鈴鹿」

ソーラーパネルで得た太陽光エネルギーを電気に変換し、モーターの力で走行するソーラーカー。その競技としての歴史は古く、1985年にスイスで開催されたのが世界初のソーラーカーレースでした。

その7年後、世界で初めて本格的なレーシングコースを使って開催されたソーラーカーレースが「ソーラーカーレース鈴鹿'92」。F1など世界の自動車競技を統括するFIA (国際自動車連盟) 公認の国際格式競技として開催されました。

以来数々のチームがチャレンジしてきた「ソーラーカーレース鈴鹿」は、今年第21回大会を迎える歴史あるレースとなり、真夏の鈴鹿を舞台に5時間耐久と4時間耐久、二つの耐久レースが行われました。



SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

■ FIA OLYMPIA

ゼッケン	活動主体	チーム名	都道府県	出場回数
001	学校	芦屋大学ソーラーカープロジェクト(B)	兵庫県	20
002	学校	名古屋工業大学ソーラーカー部	愛知県	21
003	その他	ロッキー&SAT'S	静岡県	4
004	学校	鈴鹿工業高等専門学校	三重県	21
006	学校	愛知工業大学 チャレンジプロジェクト	愛知県	4
007	学校	金沢工業大学 夢考房	石川県	19
008	学校	呉港高等学校 エコテック	広島県	10
009	その他	ソーラーカーチーム篠塚	静岡県	4
010	その他	ENEMAX-X	京都府	21



■ DREAM

ゼッケン	活動主体	チーム名	都道府県	出場回数
1	学校	芦屋大学ソーラーカープロジェクト(A)	兵庫県	20
2	学校	OSU 大阪産業大学	大阪府	17
3	学校	team miyakou(宮崎工業高校)	宮崎県	12
4	学校	ポリテクカレッジ滋賀・SPD	滋賀県	13
5	その他	アステカ・レーシングチーム	長野県	11
6	学校	大阪工業大学 TEAMREGALIA A	大阪府	6
7	学校	呉武田学園呉港高等学校	広島県	10
8	学校	飛龍高等学校 自動車部	静岡県	14
9	企業	JTEKT SORAR CAR TEAM	大阪府	20
10	学校	芦屋大学ソーラーカープロジェクト(C)	兵庫県	20

■ CHALLENGE

ゼッケン	活動主体	チーム名	都道府県	出場回数
21	その他	Team MAXSPEED	三重県	9
22	学校	紀北工業高等学校 生産技術部	和歌山県	16
23	その他	柏会	静岡県	13
24	学校	堺市立堺高等学校 科学部	大阪府	20
25	その他	HALクラブ	三重県	14
26	その他	TEAM SUNLAKE	滋賀県	19

■ ENJOY I

ゼッケン	活動主体	チーム名	都道府県	出場回数
51	学校	平塚工科大学 社会部	神奈川県	5
52	学校	埼玉県立狭山工業高等学校電子機械科	埼玉県	11
53	学校	石川県立羽咋工業高等学校 メカトロ部	石川県	18
54	学校	津工業高校 機械研究部	三重県	15
55	学校	大阪市立生野工業高等学校 機械工作部	大阪府	8
56	学校	三重県立伊賀白鳳高校 未来Factory	三重県	16
57	学校	大阪府立堺工科大学ソーラーカー部	大阪府	18
58	学校	宇都宮工業高校 科学技術研究部	栃木県	11
59	学校	松阪工業高校機械研究クラブ	三重県	15
60	学校	兵庫県立尼崎工業高等学校	兵庫県	14
61	学校	岐阜県立可児工業高等学校	岐阜県	12
62	学校	大分工業高校 自動車部	大分県	8
63	学校	石川県立七尾東雲高等学校 メカトロ部	石川県	6
64	学校	西脇工業高等学校 機械工学部	兵庫県	16
65	学校	千葉黎明高等学校 工学部	千葉県	5
66	学校	今宮工科大学ソーラー研究部	大阪府	16
67	学校	大阪市立泉尾工業高等学校 自動車部	大阪府	8

■ ENJOY II

ゼッケン	活動主体	チーム名	都道府県	出場回数
101	企業	オリンパス RS	東京都	13
102	その他	パンダサンチーム	神奈川県	21
103	その他	TERRA-SUNS	群馬県	6
104	その他	SUN SEALS	大阪府	3
105	学校	和歌山大学ソーラーカープロジェクト	和歌山県	7
106	その他	TEAM THOUSAND	長野県	10
107	その他	JAGつくばソーラーカーチーム	茨城県	10
108	学校	香川高専ソーラーカーTEAM	香川県	15
109	学校	愛知工科大学ソーラーカー部	愛知県	7
110	学校	立命館大学 EV-Racing	滋賀県	22
111	学校	近畿大学高専ソーラーカー	三重県	17
112	学校	福岡工業大学ソーラーカープロジェクト	福岡県	10
113	学校	熊本大学工学部ものづくりセンター	熊本県	4
114	学校	山口大学ソーラーカーチーム	山口県	7
115	学校	龍谷大学 ソーラーカープロジェクト	滋賀県	12
116	学校	中日本自動車短期大学	岐阜県	15
117	その他	STEP-江東	東京都	2
118	学校	DREAM FACTORY	岡山県	6
119	その他	ENA	愛知県	4
120	学校	北陸職業能力開発大学校ソーラーカーチーム	富山県	4
121	学校	神戸高専ソーラーカーチーム	兵庫県	6
122	学校	神奈川工科大学ソーラーカープロジェクト	神奈川	9

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

レース結果

5時間耐久レース (FIAオリンピア/ドリーム/チャレンジ)

国際規格の「オリンピア」、国内最強の「ドリーム」、ソーラーパネルの出力が800W以下に制限される「チャレンジ」の混走で行われる5時間耐久レース。OSU 大阪産業大学が昨年の雪辱を果たし、2年ぶりの総合優勝を飾りました。FIAオリンピアクラスは総合でも3位に入った芦屋大学ソーラーカープロジェクト(B) が、チャレンジクラスは堺市立堺高等学校 科学部がクラス優勝を果たしました。

	総合	FIAオリンピア	チャレンジ
優勝	OSU 大阪産業大学	芦屋大学ソーラーカープロジェクト(B)	堺市立堺高等学校 科学部
2位	芦屋大学ソーラーカープロジェクト(A)	金沢工業大学 夢考房	紀北工業高等学校 生産技術部
3位	芦屋大学ソーラーカープロジェクト(B)	ソーラーカーチーム篠塚	柏会



OSU 大阪産業大学



芦屋大学ソーラーカープロジェクト(B)



堺市立堺高等学校 科学部

4時間耐久レース (エンジョイ I /エンジョイ II)

4時間耐久レースの参加車両は、480W以下にパネル出力が制限されている「エンジョイ」クラス。手軽に参加できるクラスとしてI (高校・高専)とII (その他)に分けられています。激しいトップ争いを制したのは、平塚工科高校 社会部。3連覇を達成しました。エンジョイIIはオリンパスRSが2連覇の栄冠に輝きました。

	総合
優勝	平塚工科高校 社会部
2位	オリンパスRS
3位	神奈川工科大学ソーラーカープロジェクト



4時間耐久レース スタートシーン



平塚工科高校 社会部



オリンパスRS

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

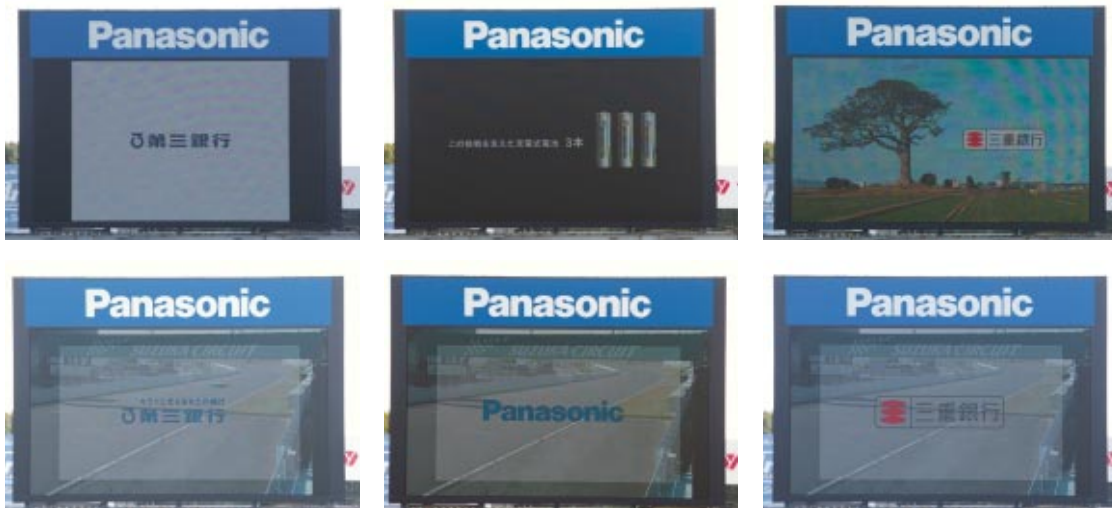
【公式プログラムご協賛各社】



A4 カラー/モノクロ 24p 1,000部発行

株式会社サンゲツ	株式会社トーエネック	株式会社三重銀行
住友電装株式会社	株式会社長谷川建装	株式会社ミツバ
株式会社第三銀行	パナソニック株式会社	
大正製薬株式会社	株式会社ホンダ四輪販売三重北	

【サーキットビジョンご協賛各社】



株式会社第三銀行	パナソニック株式会社	株式会社三重銀行
----------	------------	----------

【スポット看板ご掲出社】



株式会社ミツバ

【場内のぼり・幕ご掲出社】



大正製薬株式会社

【PRブースご出展各社】



大正製薬株式会社
株式会社ミツバ

【副賞ご協賛社】



株式会社ミツバ

ミツバ賞

■ 5時間耐久レース 「総合」、「オリンピック」、「チャレンジ」の1~3位に賞金

	総合	オリンピック	チャレンジ
1位	50,000円	50,000円	50,000円
2位	30,000円	30,000円	30,000円
3位	10,000円	10,000円	10,000円

■ 4時間耐久レース 「総合」、「エンジョイ I」の1~3位に賞金

	総合	エンジョイ I
1位	50,000円	50,000円
2位	30,000円	30,000円
3位	10,000円	10,000円

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

SOLAR CAR RACE WEEKEND À La Carte



国際的ラリードライバーの篠塚健次郎選手
自らが率いる「ソーラーカーチーム篠塚」でオリンピッククラス3位入賞



フォーミュラ・チャレンジジャパン (FCJ) で活躍する三浦愛選手
大阪産業大学に2年ぶりの勝利をもたらしました



協議開始前のフリーフィングのもよう
真剣そのものの参加者の表情



公式車検のようす 安全面を主眼に車両検査が実施されます



エンジニアの意気込みが伝わる魂のフレーズ



こちらはご当地の観光PRに一役



4時間耐久レース3連覇を果たした平塚工科高校 社会部
部員のアイデアで毎年微妙にカラーリングを変えているとの
ことです



表彰台の下の仲間たちもシャンパンファイト
みんなで戦うソーラーカーレースです

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733



公式プログラム

【イベント概要】

- イベント名称：2012 Ene-1 GP SUZUKA
- 日 程：2012年8月5日(日)
- 開催クラス：EVパフォーマンスチャレンジ 全国大会
KV-40チャレンジ 全国大会
- 主 催：株式会社モビリティランド
- オフィシャルパートナー：

Panasonic

パナソニック株式会社

MITSUBA

株式会社ミツバ

リポビタンD

大正製薬株式会社

キヨリと光るあなたの銀行
第三銀行

株式会社第三銀行

三重銀行

株式会社三重銀行

SANGETSU

株式会社サンゲツ

- 後 援：文部科学省
経済産業省
観光庁
三重県
鈴鹿市
三重県教育委員会
公益社団法人全国工業高等学校長協会
一般社団法人中部経済連合会
日本EVクラブ
鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会
一般社団法人鈴鹿市観光協会
鈴鹿商工会議所
- 会 場：鈴鹿サーキット 国際レーシングコース
(4輪用:一周5.807km) 及びその一部
- 天候・動員：8月7日(日) 晴 30.8℃ 東南東の風7.5m/s 10,000人

2011年、新たな一歩を踏み出した"次世代エネルギーカーイベント"「Ene-1 GP SUZUKA」が、今年も鈴鹿サーキット国際レーシングコースを舞台に開催されました。

大会を構成するのは、EV(電気自動車)による「EVパフォーマンスチャレンジ」と「KV-40チャレンジ」。EVがバッテリーを動力源とするのに対し、KV-40は充電式単3電池40本を動力源とするもので、優れた性能を有するPanasonic充電式エボルタ(単三形)を全チームが使用することが定められています。

「EVパフォーマンスチャレンジ」は、タイムアタックと60分耐久の2種目複合での総合性能を競う形式。

いっぽう、「KV-40チャレンジ」は、鈴鹿サーキットフルコース1周のタイムアタックを3回行い、その合計タイムと走行距離で順位が決定される競技方式です。

“モノ創り”と“エネルギーマネジメント”というふたつのテーマのもと、モビリティを通じた次世代への夢の創造とチャレンジの場として、また、新たなレーシングコースの楽しみ方を付加したイベントとして、「Ene-1 GP SUZUKA」は、さまざまな世代の参加者に楽しんでいただきながら、夏の鈴鹿を笑顔で彩りました。



SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

EVパフォーマンスチャレンジ 全国大会

バッテリーとモーターを動力源とするEV（電気自動車）により、タイムアタックと耐久の二種目競技を実施。合計ポイントで順位を競うユニークな「EVパフォーマンスチャレンジ」。まさに総合力が試される興味深い競技形式です。 対象:高校生以上

【クラス分け】

■ コンバートクラス



一般車両を電気自動車に改造したクラス
※市販車両のエンジンを外し、バッテリーとモーターを搭載してEV化した車両

■ 市販車クラス



市販の電気自動車で行くクラス

【イベント内容】

0～S字タイムアタック

ホームストレート～S字間の区間約1kmの加速とコーナリング性能を競う

e-kiden 60分ロングディスタンス(フルコース)

0～S字タイムアタック後の残存エネルギーで国際レーシングコースフルコース(5.807km)の周回数を競う60分耐久走行



KV-40チャレンジ 全国大会

「KV-40チャレンジ」のコンセプトは"高校生・大学生によるモビリティを通じたモノづくり甲子園"。若者がクルマと親しみ、エネルギーを考えるきっかけとなる場を提供することで、モノづくり・エコ・次世代エネルギーをリンクさせたモノづくりイベントです。充電式単三電池40本(Pnanasonic製 充電式エボルタ〈単三形〉)を動力源とした車両で国際レーシングコース1周(5.807km)のタイムアタックを3回行い、合計タイムと走行距離で順位を競います。 対象:中学生以上



【車体サイズ(各クラス共通)】

全	高	1.8m以下
全	長	3.5m以下
全	幅	1.7m以下
ト	レ	ッド
ホイールベース		1m以上

【クラス分け】

KV-1		KV-2	
車両重量制限なし ドライバー重量55kg以上(装備品含む)		車両重量35kg以上 ドライバー重量55kg以上(装備品含む)	
a 一般部門	b 大学・高専・専門学校部門	a 一般部門	b 大学・高専・専門学校部門
c 高等学校部門		c 高等学校部門	d 中学校部門

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

EVパフォーマンスチャレンジは繁原・ウエルマーEVレーシングチーム (FT86-EV) が優勝!



優勝した繁原・ウエルマーEVレーシングチーム



O-S字タイムアタック



e-kiden60分ロングディスタンス

EVパフォーマンスチャレンジは、昨年より大きくレベルアップした新たな戦いが登場した。少量市販車で、レースカーそのものの形をしているガライヤ (OSU ガライヤ) が登場。また今年発売されたばかりのトヨタ86 (繁原・ウエルマーEVレーシングチーム) も参戦してきた。この2台はO-S字アタックで断トツの速さを見せ、トヨタ86が57秒567、ガライヤが58秒194と、3位以下を約8秒離してきた。OSUと繁原・ウエルマーEVレーシングチームは昨年、カリナ対ミラの戦いで接戦を演じ、e-kiden60分では両チームともチェッカー直前にバッテリーを使い果たしスロー走行になりながらチェッカーを目指すという壮絶な戦いの結果、OSUが優勝している。両チームとも昨年の参戦車両に加え、今年は高パフォーマンスのマシンを投入し、O-S字アタックから激しい戦いを演じることとなった。e-kiden60分でもスタート直後からこの2台による接戦となった。ところがディフェンディングチャンピオンOSUのガライヤは3周目にトラブルでストップし、そのまま競技終了。これで独走状態となったトヨタ86はその後勝負の手を緩めることなく、途中2分57秒588のベストラップを記録。ガソリンエンジン車と大きく変わらない、すばらしいパフォーマンスでの走りを見せた。誰もがこのままの速さで60分を走りきれるのか?と疑問に思われたが、終始他のマシンより速いペースを維持してトップチェッカー。2位を2周以上引き離す15ラップを記録した。2位は1台のみの市販車車両クラスで参戦したトヨタRAV4L-EV (ウエルドインク滋賀 ウイズZEVEX) で13ラップ。3位はミラ (繁原・ウエルマーEVレーシングチーム) で12ラップだった。その結果、総合ではO-S字アタックとe-kiden60分の両方を制したトヨタ86が優勝。両競技でコンスタントな成績を残したダイハツ・ミラが2位となった。その他にも、初の高校生チームとなる大阪府立佐野工科高等学校自動車部の見事なレストアを施されたスバル360EVなど、バラエティ豊かなマシンが活躍をした。

KV40チャレンジは昨年の屈辱を晴らし、チーム"ヨイショット!"ミツバが総合優勝! 高校チーム同士の優勝争いとなったKV-2クラスは飯田工業高校原動機部Bが優勝!



総合優勝のチーム"ヨイショット!"ミツバ



KV-2クラス優勝の飯田工業高校原動機部B



KV-2クラス4位に入った附属長野中学校アペイロンの皆さん

昨年のKV40チャレンジは、キャパシタと呼ばれる蓄電装置を付けて走行するクラスがあったが、そのクラスで出場したモーターメーカーの社内同好会チーム「チーム"ヨイショット!"ミツバ」と大学やモーターメーカーなどの現役・OBらが集まったスペシャルチーム「四十雀」が接戦を展開。しかしキャパシタの異常からチーム"ヨイショット!"ミツバは本来のパフォーマンスを發揮する事ができずに涙をのんだ。その屈辱を晴らすべく望んだ今年のKV40チャレンジは、単3電池40本から供給される電力を直接モーターの駆動力とする車両重量制限なしのクラス (KV-1) での参戦となった。1stアタックでは四十雀にトラブルが発生し8分以上かかってしまう。これに対しチーム"ヨイショット!"ミツバは7分を切って1周。2ndアタックで四十雀は持ち直したものの、コンスタントに7分を切るタイムで走行したチーム"ヨイショット!"ミツバより13秒遅れ。この時点で1分半近い差が付いてしまっていた。四十雀が本調子となった3rdアタックは驚異の走りを見せ6分1秒829を記録。しかしチーム"ヨイショット!"ミツバはまたもやコンスタントな走りを見せ6分49秒747を記録。見事昨年の雪辱を晴らし、優勝を勝ち取った。四十雀は昨年に引き続き表彰台を獲得する2位でフィニッシュ。そして驚く事に、3位には高校チーム「飯田工業高校原動機部A」が入り、高校のレベルの高さを見せつける結果となった。

車両重量が35kg以上に制限されるKV-2クラスは、まさに高校チーム同士の戦いとなった。KV-1クラス3位の飯田工業高校原動機部はKV-2クラスにBチームを参戦させ、こちらも高パフォーマンスを發揮。昨年優勝した地元四日市の「チーム四中工」が追うが及ばず、飯田工業高校原動機部Bが見事優勝を勝ち取った。

また今年から新たに参戦資格を得た中学生チームも好成績を残した。多くのマシンがダンロップやヘアピン手前の坂を切り切れずにリタイヤする中、見事3回の走行すべてを完走した「附属長野中学校アペイロン」が、高校や大学・専門学校、そして一般のチームを退け、KV-2クラス4位を勝ち取った。

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

EVパフォーマンスチャレンジ

総合順位	No.	クラス	Team	Type	1st Driver	2nd Driver	3rd Driver	4th Driver	O-S字アタック		e-ekiden60分		Total Point	
									Time	Point	Laps	Time		Point
1	3	コンパクト	繁原・ウエルマー-EVレーシングチーム	FT86-EV	丹羽 和彦	金沢 秀好			57,567	20	15	1:01'33.650	60	80
2	2	コンパクト	繁原・ウエルマー-EVレーシングチーム	繁原・ウエルマー☆EVミラ	加納 靖之	村津 早雄			1'06.193	18	12	1:03'26.397	50	68
3	4	コンパクト	ZEVEX Racing Team EVミゼットII-W	EVミゼットII-W	中野 はじめ	大津 志伸	勝股 康平	鈴木 一史	125,851	14	10	1:05'00.416	40	54
4	9	コンパクト	シンエイ	バッテリー搭載車	村瀬 正光	加賀 達治			121,955	16	9	1:04'46.022	35	51
5	8	コンパクト	SPIRIT of OSU	SPIRIT of OSU	岡田 祐和	野田 侑生	平岡 卓也		107,808	17	13	1:01'09.466	26	43
6	1	コンパクト	ホンダ学園自動車整備部	N360EV	狹土 湧太	白土 祥	小林 聖		250,584	12	7	1:02'12.043	30	42
7	6	コンパクト	大阪府立佐野工科高等学校 自動車部	スバル360EV	山田 啓次				200,048	13	7	1:05'08.722	28	41
8	7	コンパクト	OSU ガライヤ	OSU ガライヤ	相原 泰祐	才原 篤	渡邊 統将		58,194	19	2	6'17.830	22	41
9	5	コンパクト	がれーじTOM TOM INSIGHT	TOM INSIGHT	水野 友夫	桜井 利則	二階堂 光徳		125,419	15	7	53'41.427	24	39
1	11	市販車	ウエルドインク滋賀 ウイズZEVEX	ウエルドインクRAV4L-EV	松野 和則	柳井 豊	松尾 憲一	奥野 義昭	1'22.150	20	13	1:02'41.270	60	80

KV-40チャレンジ

a=一般部門 b=大学、高専、専門学校部門 c=高等学校部門 d=中学生部門

総合順位	No.	クラス順位	Team	1st Driver	2nd Driver	Total Time	1st Sess.	2nd Sess.	3rd Sess.
1	9	KV-1 1	a チーム'ヨイショット'ミツバ	佐々木 善人	蛭間 洋明	20'36.738	6'57.058	6'49.933	6'49.747
2	2	KV-1 2	a 四十雀	小堀 義明		21'16.036	8'12.189	7'02.018	6'01.829
3	32	KV-1 3	c 飯田工業高校原動機部A	奥原 光		21'41.210	7'13.032	7'04.086	7'24.092
4	8	KV-1 4	a MTB67	磯村 翼		24'00.454	8'45.334	7'52.452	7'22.668
5	3	KV-1 5	a アビルエコレーシング東郷	坂田 隼志		25'11.643	8'17.432	8'33.021	8'21.190
6	7	KV-1 6	a #ちーむ悪い人 + 近大EV	川崎 真次		27'56.144	10'00.906	9'14.607	8'40.631
7	72	KV-2 1	c 飯田工業高校原動機部B	林 龍		28'39.724	8'09.192	11'36.129	8'54.403
8	44	KV-1 7	c 紀北工業高校 生産技術部 C	美田 健一		30'38.425	10'10.530	10'12.416	10'15.479
9	26	KV-1 8	c 宇都宮工業高校 科学技術研究部	黒川 優	五月女 和寛	32'28.758	11'52.295	11'17.883	9'18.580
10	68	KV-2 2	c チーム四中工	山本 大輝	加藤 悠介	33'36.165	11'11.625	11'19.223	11'05.317
11	14	KV-1 9	b 大阪産業大学新エネルギービークルPJ	川田 敦志	有本 茂樹	33'41.980	10'52.976	11'13'4.960	11'14.044
12	18	KV-1 10	b 中日本自動車短期大学	平石 康仁		35'48.749	12'12.271	10'50.485	12'45.993
13	34	KV-1 11	c 伊勢工業高校 電気技術部	松本 拓海		36'47.566	12'40.964	11'35.057	12'31.545
14	27	KV-1 12	c 愛知工業高校 化学工業科	鈴木 彼方	貫浦 舞	37'33.148	13'03.618	11'24.198	13'05.332
15	74	KV-2 3	c 堺市立南高等学校 科学部	後藤 光啓	宮崎 悟	39'32.246	13'04.765	13'46.588	12'40.893
16	20	KV-1 13	b 鈴鹿高等エコープロジェクト	平野 善文	門崎 昌紀	42'08.975	13'48.017	14'08.934	14'12.024
17	22	KV-1 14	c 静岡県立浜松城北工業高校 省エネ研究部	南澤 匡史	小澤 知也	44'49.206	11'10.960	22'17.704	11'20.542
18	78	KV-2 4	d 附属長野中学校アベイロン	成田 涼	飯田 涼斗	49'19.639	16'56.791	16'20.589	16'02.259
19	42	KV-1 15	c 紀北工業高校 生産技術部 A	小安 未貴		49'20.455	18'50.182	16'20.923	14'09.350
20	30	KV-1 16	c team miyakou(宮崎工業高校)	郡司 凌汰	武野 雄大	51'41.299	26'49.157	13'05.631	11'46.511
21	43	KV-1 17	c 紀北工業高校 生産技術部 B	村上 更紗		52'27.419	18'43.024	15'03.193	14'01.202
22	38	KV-1 18	c 飯田工業高校機械研究クラブ	松林 大智	渡邊 雅治	53'17.258	25'26.171	15'18.620	12'32.467
23	51	KV-2 5	a OpenStar with Prince	高市 哲志	木村 吉宏	54'58.389	16'24.292	19'40.557	18'53.540
24	24	KV-1 19	c 高知県立高知工業高等学校自動車工作部α	中越 真次	福本 哉太	1'02'04	26'19.786	21'23.331	14'20.983
25	59	KV-2 6	a DREAM CAR PROJECT	福田 真	永吉 謙一	1'03'56	20'21.289	22'25.279	21'09.820
26	28	KV-1 20	c 市立関南高等学校	長瀬 和典		1'07'55	24'29.394	22'08.312	21'17.940
27	25	KV-1 21	c 高知県立高知工業高等学校自動車工作部β	山中 悠平	岡林 真志	1'09'34	17'52.181	18'30.345	33'12.115
28	41	KV-1 22	c 大阪府立西野田工科高等学校 機械研究部	田木 義彰	山口 拓也	1'10'12	21'01.889	22'54.043	26'16.631
29	29	KV-1 23	c 市立関南高等学校 2	加納 典将		1'13'49	24'54.089	26'30.229	22'25.236
30	39	KV-1 24	c 呉港高等学校	宮本 隆太郎	山元 涉護	1'18'17	22'40.934	17'37.174	37'59.119
31	31	KV-1 25	c 大阪市立野工業高等学校 機械工作部	倉成 駿介	加納 弘一	21'30.643	21'30.643	17'00.187	54'00m
32	1	KV-1 26	a Team'K' Project EV	木保 昇久		22'52.093	22'52.093	22'58.627	52'00m
33	23	KV-1 27	c 富山工業高等学校	永井 勇気	堀井 敏平	20'13.940	23'32.347	50'00m	50'00m
34	55	KV-2 7	a 東富士エコー同好会～王子とにぎやかし～	山中 聡	信安 清太郎	25'09.593	28'07.094	54'00m	54'00m
35	65	KV-2 8	c 大阪市立都島工業高校EK-2レーシング	勝本 崇文		13'31.160	13'35.938	48'00m	48'00m
36	66	KV-2 9	c 宇都宮工業高校 科学技術研究部	飯村 幸生	白井 勇太	11'11.711	10'34.131	42'00m	42'00m
37	61	KV-2 10	b 長野県立短期大学校	堀内 優貴	春日 匠	20'12.577	20'53.427	42'00m	42'00m
38	45	KV-1 28	c 福岡市立博多工業高等学校 博工A	荒川 大己		19'04.952	15'21.692	40'00m	40'00m
39	17	KV-1 29	b 産業技術短期大学 Project 1	脇 裕一郎		14'34.682	14'38.031	34'00m	34'00m
40	58	KV-2 11	a PROJECT MONO ◇ TTDC	新井 英行		10'03.043	9'37.298	32'00m	32'00m
41	76	KV-2 12	c 伊勢工業高校 機械部	佐々木 貴成	栗山 貴慶	12'50.378	14'27.209	18'00m	18'00m
42	69	KV-2 13	c 奈良朱雀Racing	清水 唯吹	坂本 唯純	17'53.400	18'46.475	18'00m	18'00m
43	63	KV-2 14	b ホンダテクニカルカレッジ関西EV同好会	山本 晋司	龍田 直幸	25'56.881	15'52.518	18'00m	18'00m
44	10	KV-1 30	a 金匠+アリン	高津 謙		11'48.921	11'18.962	60'0m	60'0m
45	4	KV-1 31	a OSUtechnicalSession	須藤 隆		7'16.174	33'06.135	52'00m	52'00m
46	56	KV-2 15	a ARP ちびT-EV部	浅井 充		29'36.292	52'00m	12'11.082	12'11.082
47	47	KV-1 32	c 三車県立森工工業高等学校3年4組課題研究	伊藤 雅彦		12'46.463	50'00m	10'00m	10'00m
48	36	KV-1 33	c 大阪府立茨木工科高等学校機械研究部	芦分 大貴	田村 優介	23'54.997	32'00m	28'59.589	28'59.589
49	62	KV-2 16	b 北陸能開大 Team-KV	扇谷 翔平	市井 翔太	29'50.189	20'00m	17'37.008	17'37.008
50	71	KV-2 17	c 大阪市立野工業高等学校 電気科	井上 冬弥	河野 太郎	21'48.415	14'00m	12'00m	32'00m
51	75	KV-2 18	c Scuderia Nike	大門 亮仁	植松 改斗	31'05.251	40'0m	14'00m	14'00m
52	6	KV-1 34	a ちーむSBR	大野 貴		22'34.365	40'0m	14'00m	14'00m
53	70	KV-2 19	c 石川県立七尾東雲高等学校 メカトロ部	高本 祐太郎	中田 尚敏	32'48.238	0m	0m	0m
54	52	KV-2 20	a K2Families+M	吉山 寛一		58'00m	40'00m	40'00m	40'00m
55	40	KV-1 35	c 刈谷工業高校	川崎 友隆	兼山 佳大	54'00m	26'34.461	21'18.631	21'18.631
56	60	KV-2 21	b 松江高等電気工学科	堀江 勇治		42'00m	30'13.952	18'00m	18'00m
57	13	KV-1 36	b 日本文理大学工学部武村研究室	河野 太輔	安東 大地	40'00m	26'19.304	34'00m	34'00m
58	64	KV-2 22	c 松本工業高校原動機部	山崎 友	山口 翔太	40'00m	18'00m	18'00m	18'00m
59	11	KV-1 37	a ダイハツ工業(株)S大阪府立西野田工科高	地徳 孝寛	山口 勇樹	30'00m	27'27.491	27'56.168	27'56.168
60	15	KV-1 38	b Team 大阪工業技術専門学校	釋迦堂 巧		30'00m	18'00m	18'00m	18'00m
61	21	KV-1 39	b とよごうWorks	丹山 翔太	外山 洋太	18'00m	56'00m	19'59.227	19'41.124
62	35	KV-1 39	c 大阪府立佐野工科高等学校	金丸 健太		18'00m	16'00m	16'00m	16'00m
63	46	KV-1 41	c 福岡市立博多工業高等学校 博工B	小椋 健三郎		16'00m	14'00m	12'00m	12'00m
64	77	KV-2 23	c 愛知県立豊橋工業高等学校 機械部	榎本 那都		14'00m	48'00m	28'18.907	28'18.907
65	19	KV-1 42	b 大阪工業技術専門学校 ぼーと2	龍村 和也		12'00m	10'37.770	10'31.315	10'31.315
66	37	KV-1 42	c 愛知県立豊橋工業高等学校 機械部	島山 大輔		12'00m	18'44.906	14'28.742	14'28.742
67	67	KV-2 24	c 津工業高校 機械研究部	稲田 雄士		12'00m	10'00m	10'00m	10'00m
68	33	KV-1 44	c 岐阜第一高等学校	若崎 凌	佐々木 将悟	10'00m	18'00m	18'00m	18'00m
69	73	KV-2 25	c 愛知県立三谷水産高等学校 機関部	二村 菜摘	仲口 優一	10'00m	8'00m	8'00m	8'00m
70	16	KV-1 45	b AITChallengeProject	堀田 陽平		8'00m	6'00m	6'00m	6'00m
71	79	KV-2 26	d 久居中学校技術部	大市 海里	土井 優作	0m	6'00m	6'00m	6'00m

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL:059-378-1111 FAX:059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL:0285-64-0001 FAX:0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL:03-3278-0777 FAX:03-3278-0733

イベント&プロモーションシーン 1

EVパフォーマンスチャレンジ
KV-40チャレンジ



ホームストレートからS字にかけてのタイムアタック
「0-S字タイムアタック」



タイムアタックの残存エネルギーでフルコースを走る
60分耐久走行「e-kiden60分ロングディスタンス」



車検場でのKV-40の公式車検風景
車両の検査と装備品のチェックなどが行われました



ピットビル2階で行われたKV-40のフリーフィング
競技におあたつての注意事項などの確認・説明がなされました



KV-40タイムアタック時には鈴鹿サーキットクイーンが
日章旗で合図



KV-40タイムアタック中にコース際まで入れる「激感エリア」
最大の難所ダンロップコーナーには多くのギャラリーがつかめました



走行開始前にコースを開放
徒歩でコース確認を行っていただきました



さらにバスでのコース下見・確認も

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

PICK UP 1

さまざまなジャンルの次世代エネルギー車両が展示され、さらにお昼のインターバルにはエキシビション走行を披露しました。



伝統の英国マン島TTレース電動バイク部門に挑戦した「TT零12」



燃料電池電気自動車「トヨタFCHV」



空気を動力源として走る豊田自動織機製「KU:RIN(クーリン)」



太陽光を動力源とするユニークなソーラーバイクたち



一充電での航続距離587.3kmを誇るTGMV EV Himiko



TGMV「超小型EV用性能確認試験車輛」汎用化を目指した超小型EV

PICK UP 2

競技終了後はピットビル2Fホスピタリティラウンジで表彰式・閉会式が和やかに行われました。



笑顔いっぱい表彰式



表彰式・閉会式の最後に行われた全員での集合写真

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

PICK UP 3

当日は、経済産業省 中部経済産業局 補助事業として「工学系学生・若手技術者のための次世代自動車講座「自動車の楽しさ・やりがい実感セミナー」」が開講され、各分野のエキスパートによる興味深い講義・講演が行われました。



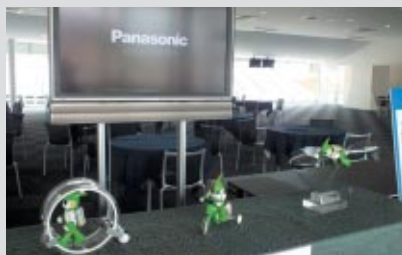
中古の英国車をEVに改造した技術者 浅井 伸治 氏
(有限会社エーシーシー 代表取締役)の講義



モータージャーナリスト小倉茂徳氏による、レースと自動車の進歩の歴史についての講演

PICK UP 4

ピットビル2階には今回のイベントにご協力いただいたパートナー様のご休憩スペース「パートナーラウンジ」が設けられました



充電式エポルタ3本でトリアスロンを完走した「エポルタくん」が展示されました



ラウンジ内にはKIV-40マシンが展示されました

PICK UP 5

パナソニック 手作り乾電池教室
オリジナルの乾電池を作り、実際に光をつける体験をお楽しみいただきました。
また、レースの運営施設を見学できる「バックヤードツアー」も併催されました。



教室のようす



管制室などを見学「バックヤードツアー」

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

【公式プログラムご協賛各社】



A4 カラー/モノクロ 28p 1,200部発行

株式会社サンゲツ 住友電装株式会社 株式会社第三銀行	大正製薬株式会社 株式会社トーエネック 株式会社長谷川建装	パナソニック株式会社 株式会社ホンダ四輪販売三重北 株式会社三重銀行	株式会社ミツバ
----------------------------------	-------------------------------------	--	---------

【ゼッケンロゴ表示】



パナソニック株式会社

【賞金・副賞ご協賛】



パナソニック株式会社



株式会社ミツバ

【スポット看板ご掲出社】



株式会社ミツバ

【場内のぼり・幕ご掲出社】



大正製薬株式会社

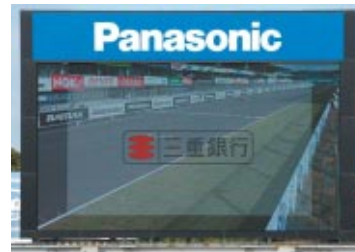
【PRブースご出展各社】



大正製薬株式会社

株式会社ミツバ

【PRブースご出展各社】



株式会社第三銀行

パナソニック株式会社

株式会社三井銀行

SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

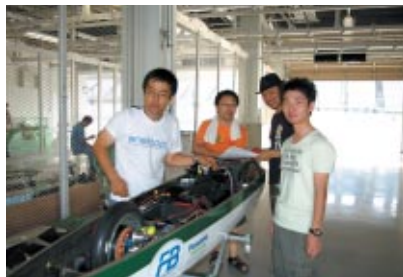
120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733

夢に向かって、はしれ、未来へ。

たくさんの仲間とたくさんの笑顔であふれた鈴鹿の夏。また来年もここで素敵な週末をすごしましょう



SUZUKA CIRCUIT

7992, INOU-CHOU, SUZUKA-SHI, MIE 510-0295, JAPAN TEL: 059-378-1111 FAX: 059-378-8101

TWIN RING MOTEGI

120-1 HIYAMA, MOTEGI-MACHI, HAGA-GUN, TOCHIGI 321-3597, JAPAN TEL: 0285-64-0001 FAX: 0285-64-0009

TOKYO OFFICE

HONDA YAESU BUILDING 2-6-20, YAESU, CHUO-KU, TOKYO 104-0028, JAPAN TEL: 03-3278-0777 FAX: 03-3278-0733